

令和7年度恵庭市教育委員会会議(2月定例会)会議録

日 時	令和8年2月10日(火) 開会17時00分 閉会17時45分																						
会 場	市役所 3F 301・302会議室																						
出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">教育長</td> <td>岩 淵 隆</td> </tr> <tr> <td>教育長職務代理者</td> <td>土 谷 秀樹</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>福 屋 栄人</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>白 崎 亜紀子</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>中 山 舞</td> </tr> </table>	教育長	岩 淵 隆	教育長職務代理者	土 谷 秀樹	委 員	福 屋 栄人	委 員	白 崎 亜紀子	委 員	中 山 舞												
教育長	岩 淵 隆																						
教育長職務代理者	土 谷 秀樹																						
委 員	福 屋 栄人																						
委 員	白 崎 亜紀子																						
委 員	中 山 舞																						
会議出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">教育部長</td> <td>狩 野 洋一</td> </tr> <tr> <td>教育部次長</td> <td>山 口 晃弘</td> </tr> <tr> <td>教育総務課長</td> <td>藤 野 真一郎</td> </tr> <tr> <td>教育総務課主幹</td> <td>前 川 豊志</td> </tr> <tr> <td>教育支援課長</td> <td>横 山 真澄</td> </tr> <tr> <td>社会教育課長</td> <td>黒 氏 優子</td> </tr> <tr> <td>学校給食センター長</td> <td>斉 藤 喜代彦</td> </tr> <tr> <td>読書推進課長</td> <td>和 合 智子</td> </tr> <tr> <td>郷土資料館長</td> <td>高 野 隆司</td> </tr> <tr> <td>教育施設課長</td> <td>塚 野 憲</td> </tr> <tr> <td>教育総務課主査</td> <td>小 井 裕介</td> </tr> </table>	教育部長	狩 野 洋一	教育部次長	山 口 晃弘	教育総務課長	藤 野 真一郎	教育総務課主幹	前 川 豊志	教育支援課長	横 山 真澄	社会教育課長	黒 氏 優子	学校給食センター長	斉 藤 喜代彦	読書推進課長	和 合 智子	郷土資料館長	高 野 隆司	教育施設課長	塚 野 憲	教育総務課主査	小 井 裕介
教育部長	狩 野 洋一																						
教育部次長	山 口 晃弘																						
教育総務課長	藤 野 真一郎																						
教育総務課主幹	前 川 豊志																						
教育支援課長	横 山 真澄																						
社会教育課長	黒 氏 優子																						
学校給食センター長	斉 藤 喜代彦																						
読書推進課長	和 合 智子																						
郷土資料館長	高 野 隆司																						
教育施設課長	塚 野 憲																						
教育総務課主査	小 井 裕介																						
議題及び議事の概要	別紙のとおり																						
会議の傍聴を許可された者	1名																						
議事録署名委員	福屋 栄人																						

令和7年度恵庭市教育委員会会議(2月定例会)結果表

令和8年2月10日(火) 17時00分開会

17時45分閉会

会場:市役所 3F 301・302会議室

事案番号	件名	議決結果
議案第1号	補正予算について	原案可決
協議1	「第4次教育推進プログラム(案)」について	協議済み
報告1	「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」恵庭市小・中学校における調査結果について	報告済み
報告2	株式会社アレフとの包括連携協定の締結について	報告済み

○会議出席者

岩淵教育長

教育委員:土谷委員、福屋委員、白崎委員、中山委員

事務局 :狩野教育部長、山口教育部次長、藤野教育総務課長、前川教育総務課主幹、横山教育支援課長、黒氏社会教育課長、斉藤学校給食センター長、和合読書推進課長、高野郷土資料館長、塚野教育施設課長、小井教育総務課主査

議 事 録

開会 17時00分

- 教 育 長 只今より教育委員会を開催いたします。初めに日程1、議事録署名委員の指名について事務局お願いします。
- 事 務 局 今回会議の議事録署名委員は、福屋委員お願いします。
- 教 育 長 よろしいでしょうか。
- 委 員 (承認)
- 教 育 長 次に日程2、前回会議録の承認について事務局お願いします。
- (事務局から前回の議事録について報告)
- ただいまの記録のとおり承認するということによろしいですか。
- 各 委 員 (はいの声)
- 教 育 長 続いて日程3、議案に入ります。
- 議案第1号補正予算について、事務局よりお願いいたします。
- 事 務 局 1ページの議案第1号補正予算についてご説明いたします。
- 2ページの補正予算説明資料をご覧ください。
- まずは、定期的に行っている、2件の基金積立金ですが、10月から12月のふるさと納税を中心とした補正予算となっております。
- 一番上の段ですが、経費名で、高等学校等入学準備金基金積立金とありますが、今期は254件のふるさと納税があり、経費分を差し引いた3,585千円を基金に積み立てることとしております。
- 次に、四段目の青少年・文化振興基金積立金ですが、308件のふるさと納税があり、経費分を差し引いた4,761千円と窓口で受領した10千円、合計4,771千円を基金に積み立てることとしております。
- 次に、上から二段目と三段目の小中学校の学校図書館費になります。子どもの読書活動を支える寄附ですが、こちらは5ページをご覧ください。
- 寄附の歳入ですが、恵明中学校PTA様から恵明中学校へ30千円。
- 柏小学校学校運営協議会様から、柏小学校へ4千円。
- 柏木町老人クラブ様から、柏小学校へ10千円。
- かしわのもり、「緑のカフェ」様から、柏小学校と恵庭中学校へ10千円づつ20千円。
- 大安寺婦人会様から、市内全小中学校へ5千円ずつ65千円。
- 恵庭小学校PTA様から恵庭小学校へ50千円。

島松小学校PTA様から島松小学校へ20千円。

以上を受領しており、6、7ページでそれぞれ各校へ図書購入費を倍にして予算措置することとしております。

以上、簡単にご説明申し上げましたが、このとおり第1回定例会にて補正予算(案)として提出したいことから、ご審議の上、原案どおりご承認賜りますようお願い申し上げます。

教 育 長 ただ今の議案第1号について、ご質疑等はございますか。

各 委 員 (なしの声)

教 育 長 なければ、以上で議案第1号について終了いたします。

続いて、日程4協議に入ります。

協議1は、「第4次教育推進プログラム(案)」について、です。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 協議1第4次教育推進プログラム(案)、についてご説明申し上げます。

資料をご覧ください。

先月の教育委員会において、第4次教育推進プログラムの主な事業案として、2ページにございますプログラム体系図をお示しし、選定した36項目について説明し、ご協議いただきましたが、本日はプログラム(案)として、各項目の事業概要を個別シートとしてお示ししております。

ここで、二つ訂正をお願いしたい点がございまして、17ページ個別シートNo.15の事業のタイトルですが、「学校ホームページ等による情報発信」とありますが、正しくは「学校ホームページやSNS等様々な媒体やCS等による情報発信」という事業名になります。よろしくをお願いします。

もう一つは、10ページの事業のスケジュールが、令和3年度からの5年間となっておりますが、正しくは令和8年度からの5年間となります。

資料の説明に入りますが、2ページにあります教育推進プログラムの体系に基づき、36項目の事業に対し、3ページ以降事業の推進に係る個別シートを作成しておりますが、それぞれ事業について目標と概要、効果、課題、そしてスケジュール・事業費と記載しております。内容をご確認いただき、ご協議いただきたいと思っております。

なお、今後の策定スケジュールであります。3月11日の総務文教常任委員会で本プログラム(案)について報告する予定であります。

説明は以上になります。ご審議の程、よろしく願いいたします。

教 育 長 ただ今の協議1について、ご質疑等はございますか。

委 員 員 個別シートの中の一番上段の『目標』、『主要施策』とか『施策の方針』、『基本目標』、『重点施策』に記載されているアルファベットとか数字というのが、何を意味しているのかわからなかったの、教えてください。

事 務 局 2ページの体系図にある『主要施策』というのが12項目あるのですが、大きく3つずつを4区分に分けてあります。この4区分の中でそれぞれ上からA・B・Cと位置付け

ているものですが、委員ご指摘のとおり、こちら突合できるように追記しようと考えたいと思います。

委員 そうしたらこの『目標』というのは、『四つの目指す子ども像』ということで、目標のⅠ～Ⅳということになるのですか。

事務局 そういうことになります。

教育長 そうすると『施策の方向』はどうなりますか。

事務局 それぞれの目標Ⅰ～Ⅳの中で、主要施策がA～Cまでありまして、またそのAにぶら下がっている3つの項目が、『施策の方向』ということになりますが、それが上から1・2・3と番号が付けられ、それぞれの個別シートに対応しているということになります。

教育長 これは前回も同じ作りで、前回もこれについて体系図への番号の振りはなかったのですね。これはわかりづらいので、今回直してください。

委員 『総合計画との関連』というのは、総合計画の方を参照しないと数字の意味がわからないということになりますか。

事務局 そういうことになります。

教育長 なにか1枚参照できるようなものがほしいですね。

委員 3ページのNo.1の『副読本「のびゆく恵庭」の編纂』のところで伺いたいのですが、「大規模編纂作業」とあるのですが、これはデータとかを新しくするとか改訂というよりは、大規模に編成などを丸ごと変えるというようなイメージなのでしょうか。それとも今ある14訂版を部分的に新しくするというようなイメージでしょうか。

事務局 イメージとしては大きく見直すということで、単年度ごとに基本修正点がないかということは確認しているのですが、大きくその時点でその時にあったものに変えていくということになります。

委員 副読本は主に3～4年生が使うものだと思うのですが、小中一貫教育ということもありますので、どの学年でも使っていけるようなことを意識した作りにしていくと、よいのではないのかなと思いました。

教育長 学習指導要領上に準じた考え方でいくとどうでしょうか。

事務局 社会科の教科の内容なので、なぜ副読本なのかということ、小学校の1～2年生は社会科という教科がなくて、生活科の中で身近な地域の生活のつながりの中で、世の中を見るような勉強がされております。教科の社会科というのは小学校3年生から始まって、身近な地元からスタートしていくことになります。実は教科書がずっと3～4年生もあるのですが、これが5年生・6年生になると本来の日本や世界の単位の中

での教科の内容がどんどん強くなるものですから、特に恵庭を学ぶという部分の中での副読本の必要性が、小学校の3～4年生は高いというところで、これまで14回の編纂作業を行ってきたということで認識しております。

教 育 長 大人の私達が見ても、なるほどと思う部分がたくさんありますので、1～2年生は文字が読めない部分があるかもしれませんが、図や写真もたくさん使っておりますので、そういう意味では委員の意見に沿ったものではあるのではないかなと思います。

事 務 局 教科の内容だけではなくて、総合的な学習の時間で地元の勉強をしたりだとか、職業について勉強したりだとか、そういった社会科の副読本という位置づけではありますが、小学校を通じて活用していくこともできると思いますので、そういう方法も現場と協議していきたいと思います。

委 員 私の地元で作っている副読本では、9年間使うというところを意識した作りにしたようで、そういう使い方を参考にということでお持ちしました。せっかく大規模に編纂をするということなので、長く使えるものがないかなと思っております。

事 務 局 是非、参考にさせていただきたいと思います。
紙ベースの在り方も同時に検討することになりまして、データでやるとより編纂しやすくなるのかなと思っております。

委 員 31ページの29番の『運動習慣づくりの推進』というところで、事業概要で「市PTA連合会などと連携して、運動習慣づくりを推進。」ということで、これは何か周知をして各PTAに下してもらうような形なのか、実践的なものやっていくのか、何か想定されるものがあれば教えてください。

事 務 局 運動習慣や家庭学習もそうかもしれませんが、学校の中でもしっかりと取組むということもあるのですが、市P連という組織名をあげておりますが、親子レクみたいなものも協力してやっていくような、そういう形で協力体制を取りながら習慣という部分ではそのように推進していきたいという意図を持っております。

委 員 市P連の方で、1年に一回ミニバレーボールを中学生以上ですけれども各PTAにおろして集めていただいたりとかもしているのですが、そういうのもここに入ってくるのでしょうか。

教 育 長 広い意味でそういう活動も入ってくることになります。

その他、ありますか。

各 委 員 (なしの声)

教 育 長 限られた時間でありまして、お気付きの点がありましたら事務局の方にご連絡をいただければと思います。

以上で協議1について終了いたします。

続いて、日程5報告に入ります。

報告1は、「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」恵庭市小中学校における調査結果についてです。事務局から説明をお願いします。

報告1「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」恵庭市小中学校における調査結果について、報告いたします。

資料は、「恵庭市小・中学校における調査結果(報告)」本編と概要版を作成しましたので、この後は、1ページから2ページに記載している概要版に基づいて、本市の児童生徒の概況をご説明いたします。

それでは、資料「概要版」をご覧ください。

はじめに、『1 調査の概要等』についてであります。本調査の目的としては、国においては、施策の成果と課題を検証・改善すること、恵庭市においては、継続的な検証改善サイクルを確立すること、学校においては、体育・健康に関する指導を改善することなどを目的に毎年実施されるものであり、小学校5年生と中学校2年生が対象学年となっております。

調査の内容としては、体力・運動能力を測定する8種目からなる新体力テストが用いられているほか、児童生徒や学校に対して、運動習慣や指導の状況などに関する質問紙調査が一緒に行われています。

今年度は4月から7月までの期間で学校において実施され、本市では小学生約528人、中学生約488人が参加いたしました。

なお、本市においては、これまでも調査の目的を損なうことのないよう、平均の記録や調査結果の直接的な数値による結果は公表しておらず、調査の概要⑥にお示ししたとおり、記号を用いて全国・全道平均との比較の状況を表しております。

次に、小学校の結果についてですが、はじめに①実技調査の結果(小学校)についてです。

表には、握力からソフトボール投げまでの8種目の状況と、それらを総合した体力合計点の状況等を記していますが、男子では、「反復横とび」は全国・全道平均をやや上回っており、「立ち幅とび」は全国・全道平均を上回っています。また「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度となっております。

女子では、「反復横とび」は全国・全道平均をやや上回っており、「20mシャトルラン」は全国・全道平均をやや下回っています。また、「立ち幅とび」は全国平均を上回り、全道平均との比較ではやや上回っています。それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度という状況です。

②の児童質問紙調査の結果では、運動が「好き」と回答した割合について、男子は全道平均と同程度、全国平均よりもやや上回っていますが、女子は全国・全道平均と同程度です。

また、体育授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較して、男子はやや下回っており、女子は下回っています。

次に、③実技調査の結果(中学校)についてですが、男子では、「20mシャトルラン」・「立ち幅とび」は全国平均をやや上回り、全道平均との比較では上回っています。「上体起こし」・「長座体前屈」は全道平均をやや上回り、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度の状況です。

女子では、男子と同様に「20mシャトルラン」・「立ち幅とび」は全国平均と比較し

て、やや上回っており、全道平均との比較では、「20mシャトルラン」・「立ち幅とび」は上回っています。「長座体前屈」では、全道平均と比較してやや上回っており、その他は全国・全道平均とほぼ同程度です。

また④の生徒質問紙調査の結果では、運動が「好き」と回答した割合について、男子は全国平均を上回っており、全道平均をやや上回っています。女子は全国平均をやや上回り、全道平均と同程度の状況です。

保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている状況でした。

今後、本調査結果を、各校における改善の取組みに生かすとともに、学力・体力向上推進会議での意見もいただきながら、市教委としても各校の取組みを支援していきたいと考えております。

なお、本報告書は、3月11日の総務文教常任委員会で報告する予定であり、報告後、市ホームページ等で公表いたします。

説明は以上です。

教 育 長 ただ今の報告について、ご質疑等はございますか。

委 員 この体力測定調査期間が4月から7月になっているのですが、これは実施する時期というのは各学校の判断に委ねられているのでしょうか。

事 務 局 各学校の判断の中で、実施日を決めてこの期間の中で行っていただいております。

委 員 4月の涼しい時期と、最近気温が高いので7月のかなり暑い時期と、やる時期によって数値に影響しないのかなと思いました。

事 務 局 4月にやる部分と7月にやる部分では、若干の差が出ます。道教委の方でも、4月から取組みながら7月まで何回かにわたって継続的に取組みを進めながら、最終的に子どものベストの記録がとれるように、ということで可能な限り7月の提出ぎりぎりまで取組みを進めてほしい、という方向で指導を受けているところであります。昔は4月の当初に一回やってそれをデータで出してしまうというところもあったのですが、今は単純にそれを測定するということではなくて、体力向上につなげていく取組みの一環としてこの調査を活用していくという流れになってきているかなと考えているところであります。

教 育 長 何回かやって一番いいデータを提出することができるということですね。

事 務 局 そういうことになります。

委 員 児童の質問の結果なのですが、小学生は「運動が好き」と答えた割合が、全道・全国を男子も女子も上回っているのですが、「体育の授業が楽しい」が下回っている。中学校になると両方とも上回っているということで、この要因はどう考えられますか。

事務局

中学校の方から先に説明します。非常に現場の体育の先生方が頑張ってくれているというのが、好循環で成果を上げているのだらうと思います。一週間に3回の50分程度の体育の授業ですので、そこで体力がぐんぐん伸びるということにはなかなかならないのですが、教科体育の目標は子ども達が生涯にわたって運動に親しむその習慣作りだとか、態度を培っていくことが大きな目標でありますので、体育の授業が楽しいことによって日常的に運動に親しもうとする子ども達が育って、最終的に体力・運動能力の向上につながっていくというのがベストな形なのかなと思います。恵庭の小学校の子ども達ですが、運動が好きなので、私達が学校訪問に行った時に、寒い時期でもTシャツ短パンで外に出て昼休み遊んでいる姿をよく見るのですが、その部分と体育の授業が、子ども達が楽しいと捉えているデータには若干の乖離が見られる状況です。本編の中にはデータがあるのですが、子ども達は体育の授業の何を楽しいと捉えているのかという分析結果があるのですが、やはりできなかったことができるようになった時に体育の授業が一番楽しいと感じる割合が、男子も女子も高く、そういうふうに小学校の体育の授業を捉えていくと、そこにはまだまだ授業改善の余地が残されているんだらうなと捉えております。

教育長

中学校の場合は専科の体育の免許を持った専門の先生がおりますが、小学校は全教科教えなければならないということで、そういうところも表れているのかなと思います。そこに一つ一つ課題というか、今後の目標や学校での取組みの在り方があるのかなと市教委の中では話をしていました。

その他、ありますか。

各委員

(なしの声)

教育長

なければ、以上で報告1について終了いたします。

続いて報告2は、株式会社アレフとの包括連携協定の締結についてです。事務局よりお願いいたします。

事務局

報告2恵庭市教育委員会と株式会社アレフとの包括連携協定について、ご報告申し上げます。資料の35ページをご覧ください。

昨年12月5日の当委員会の会議におきまして、ご承認賜りました株式会社アレフと恵庭市教育委員会との包括連携協定について、1月15日に締結式を行い、正式に協定を締結いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、今後につきましては、『教育旅行の誘致』を見据えて、事前学習用オンライン講座の内容の協議を進めるとともに、加えて『地域の活性化や文化の振興』に繋がるよう、双方でアイデアを出し合いながら効果的な手法を検討して参りたいと考えております。

簡単ではございますが、私からの報告は以上でございます。

教育長

ただ今の報告2について、ご質疑等はございますか。

各委員

(なしの声)

教 育 長

なければ、以上で報告2について終了いたします。
続いて、日程6その他について、事務局よりお願いします。

事 務 局

今後の教育関連事業についてです。
読書推進課や郷土資料館の事業が多くなってございます。議会の関係もあって
間が空いているところもありますが、後程確認いただければと思います。

(次回の日程確認)

教 育 長

その他、全体を通して何かありますか。

各 委 員

(なしの声)

教 育 長

以上をもちまして、本日の教育委員会を終了いたします。
ありがとうございました。

終 了